

虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン
「にじのたいじゅ」

2023年
10月号
NO.301

協同組合という
虹のもと、
大都市に深く
根を張りそびえる
大樹のような
JAで
ありたい――



今月の特集

新生 JAさっぽろ誕生!!

小林農園レタスの収穫作業
Photo by SOGA Takahiro

真っすぐな想いを貫く。 繋がりの中から生まれる、 農業のカタチ。

厚別地区組合員 小林一裕さん



25年前、「虹の大樹」第1号の組合員紹介ページで「うちの農業守っていきます！」と熱く語ってくれた小林一裕さんを「新生JAさっぽろ」として初の発行となる今号で再び追いかける。

7種類のレタス

降り続く雨の合間を縫って訪れた小林農園。何面もある畑には育ったレタスが鮮やかな翠色の絨毯のように広がっていた。

一つひとつのレタスが色濃いコントラストを生み、美しいとすら感じる。「生命力を纏った畑」そんな言葉が当てはまるほど畑はエネルギーに溢れている。

小林農園では7種類のレタスを栽培。リーフレタス、サニーレタス、ロメインレタスはもとより、レッドコス、フリルアイス、ピンクロッサなど珍しい品種の生産にも注力しており、レタスは小林農園の名産品と言っても過言ではない。この日は5名程で収穫作業を行っていたが、驚くのはその連携とレタスの切り口を一つずつ丁寧に拭く作業。連帯感と手間暇が小林農園のレタスの鮮度を保つ要因の一つだ。レタス以外にも春菊、アスパラガス、キャベツ、ブロッコリーなど多品目の野菜を

生産し、道内外へ出荷する他、「とれたてっこの厚別」や自ら運営する「小林農園やさい直売所」で販売している。

周囲の励ましが力に

「昨日もスコールみたいになすごい雨だったね。色々な環境変化がいつぺんに来ている感じがする。ここ最近、経験したことがない様なことが起きるから大変だよ。」異常気象という言葉を毎年のように耳にする昨今。特に今年の記録的猛暑による影響は計り知れなく、高温障害など自然相手ゆえの厳しさと困難に直面した。「長年農業をやってきた中でこんなにも苦しい年はないよ。春菊の畑も9月はほとんど駄目にしてしまったり：つらいと弱音を吐きたくなることとが何度もあった。」そんな中、小林さんを後押ししてくれたのはご家族と10名を超えるパートさんだったと小林さんは話す。「やっぱり家族の支えは大きいよ。息子も手伝ってくれ



2



3



1



5



4

1. 収穫したレタスを運ぶ、小林農園の皆さん。2. 小林農園オリジナルの箱への詰め作業。3. 新鮮なレタスならではの切り口の透明感。4. 一つ一つレタスの切り口を手間暇をかけて拭き取る様子。5. 絶妙な連携で行なう収穫作業。

繋がりが進化を生む

25年前と変わったのは気候だけではない。IT機器の発達により情報の収集や共有が容易になり、リアルタイムで状況の改善が図れるようになったのは大きい。「長雨のせいで病気の発生が多くてね。例年以上に防除が必要になってきているけど、他のレタス農家や農業普及センターとの連携のおかげで効率よく対応できる。昔は生産者同士、営農に関する情報は『極秘』みたいな雰囲気があったけど、今はそんな時代じゃない。地区を越えた繋がりで石狩の組合員さんとも協力できればいいね。」

25年前と変わらないものもある。それは常に新しいことを取り入れる小林さんの姿勢。一例がGAP認証の取得だ。小林さんは消費者からの安心・安全な農作物を求める声が大きくなっ

ている状況に対応すべく率先して取得した。この先駆的な取り組みが功を奏し野菜の出荷先が拡大、東京オリンピック2020の選手村で自社農園の野菜が提供されるまでになった。

新しい事も昔ながらの事も大切にバランスよく取り組む姿には、「畑の技術者」という表現がぴったりくる。「今はウェブで調べれば何でも分かるようになったけど、やっぱり『知っている人』と直に話すのにはかなわない。その人の経験とか想いとか：肌感覚って言うのかな。人との繋がりを大事にしていきたいね。」

25年前と変わらず農業への滾る想いを語ってくれる小林さんは、これからも人と農業を紡ぎ、農業を守り続けていくに違いない。

※GAPとは、農業生産の各工程の実施・記録・点検・評価を行なうことによる持続的な改善活動のこと

本誌14ページに小林さんの奥様・祐美さんが講師を務めたクッキングスクールの記事を掲載しています。家族みんなが、お互いと農業を想う気持ちが変わる素敵な教室でした。合わせてご覧ください。

新生 JA さつぽろ誕生!!

令和5年10月1日、JAさつぽろとJAいしかりが合併し、新生JAさつぽろが誕生しました。

新生「JAさつぽろ」の 発足にあたり



札幌市農業協同組合
代表理事組合長
軽部 幹夫
(豊平地区)

この度、新生「JAさつぽろ」として新たに歩みを始めました。

合併にあたっては、組合員の皆さまの多大なご理解のもとより、関係役職員のご協力、行政機関、JAグループ等、関係各位の力強いご指導とご鞭撻を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

昨今の農業を取り巻く情勢は、国際競争や円安の進行による肥料・飼料をはじめとした生産資材の価格高騰等、今後の営農継続に向けても大きな不安材料となっております。

そのような中、今回の合併により、組織・事業・経営基盤の強化と充実を図り、組合員の皆さまの営農と生活を将来にわたって守り抜くこと、そして、協同活動を通じた地域農業の振興により組合員の皆さまの願いを実現することが大切

であると考えております。

新生JAさつぽろは、両JAがこれまで培ってきた組合員・地域の皆さまとの絆のうえに成り立っています。相互の人材と事業運営のノウハウを結集し、皆さまの多様なニーズに応えることができるバランスの取れた組織づくりに向けて取り組んでまいります。

新たな経営理念・経営ビジョンのもと、組合員・地域の皆さまに、「合併してよかった」と言ってもらえるような組織づくりに全力を傾注してまいりますので、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



札幌市農業協同組合
代表理事副組合長
中村 武史
(石狩地区)

10月1日より「わたしたちは笑顔をつなぐ虹の大樹でありたい」の経営理念のもと、新生「JAさつぽろ」として思いを一つにし、新たな一歩を踏み出しました。

歴史や風土、経営環境も大きく違う両JAがそれぞれの相違を乗り越え、協同

の力を結集し地域農業の振興と組合員の皆さまの願いを実現していく為にも、両JAのこれまで培った知恵や能力を新生JAの中で活かしてまいりたいと考えております。

現在、世界的パンデミックや国際競争、経済のグローバル化の影響により、農業経営を取り巻く環境はかつて無い厳しい局面を迎えています。こうした状況下に於いても農協組織の経営基盤を強化し、組合員の皆さまの営農経済や生活を将来にわたり支えていくのが農協としての使命であると考えております。

この度の合併により、旧JAが持つ長所をより伸ばしながら、弱かった部分を補い合って合併効果を発揮し、組合員の皆さまの所得向上に結びつくよう取り組んでまいります。

合併に至るまでには組合員の皆さまは元より行政機関やJAグループなど多くの皆さまから力強いご指導とご協力をいただきました。改めて御礼を申し上げますと共に組合員の皆さまお一人おひとりからこれまで以上に信頼され、頼りにされる農協となるよう全力で取り組んでまいりますので、今後ともご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

経営理念

わたしたちは
笑顔をつなぐ
虹の大樹でありたい

経営ビジョン

わたしたちは
協同活動を通じて
地域農業を振興し
組合員の願いを実現します

J A さっぽろ新役員紹介

J A さっぽろ・J A いしかりの合併に伴い、
令和5年10月より役員を務めます理事・監事をご紹介します。

常勤役員

常勤監事	常務理事	常務理事	専務理事	代表理事副組合長	代表理事副組合長	代表理事組合長
						
ながなわ みちひろ 長縄 道弘 員外（広域）	うじえい みつる 氏家 暢 学識経験者（広域）	みずしま ひとみつ 水嶋 仁光 学識経験者（広域）	まるおか あきら 丸岡 晃 学識経験者（広域）	なかむら たけし 中村 武史 石狩地区	すごう けいいち 須合 経一 厚別地区	かるべ みきお 軽部 幹夫 豊平地区

理 事

						
ふるせ しょうご 古瀬 庄吾 北札幌地区	あさい よしまさ 浅井 義正 北札幌地区	きだ かずよし 木田 和良 篠路地区	くまき もとお 熊木 基雄 篠路地区	いとう こういち 伊藤 幸一 琴似地区	すがわら まさゆき 菅原 正行 新琴似地区	めぐろ はるお 目黒 晴夫 中央地区
						
いけだ としひろ 池田 利碩 手稲地区	やますえ まなぶ 山末 学 西町地区	わきや よしゆみ 脇屋 佳史 南地区	てらだ としのり 寺田 敏則 豊平地区	おくうち なおし 奥内 尚史 平岸地区	きうち かつひろ 木内 克博 厚別地区	なかにし ひで 中西 偉 白石地区
						
				よこやま しずえ 横山 静江 女性（広域）	にわ けいこ 丹羽 恵子 女性（広域）	にいし なおき 新居 直樹 石狩地区

監 事

						代表監事
						
かわかみ のぶる 川上 登 石狩地区	どのやま みきや 殿山 幹也 厚別地区	ほそだ かつふみ 細田 克文 白石地区	たかだ ゆういち 高田 裕一 北札幌地区	ささき まさし 佐々木 雅史 琴似地区	いなば かつみ 因幡 克己 新琴似地区	あらい かずや 荒井 和哉 南地区

アラカルト

組合員さんの
活動を紹介します！



北札幌統括支店協同活動

食べるまでが勉強です！

丘珠小学校の児童と収穫体験

8月29日（火）北札幌統括支店では、北札幌地区組合員6名と職員7名が参加し、丘珠小学校の児童26名と共に同地区組合員である相澤保さんの圃場で『札幌黄』の収穫体験を実施しました。

今年は新型コロナウイルス感染防止から職員が定植作業を行なったこともあり、児童たちは久々に訪れた圃場に広がる景色に目を輝かせ、夏の高温にも負けず育った大玉傾向となった札幌黄を組合員と共に楽しそうに収穫！橋場武夫実行委員長は、玉ね



「茎を切ってください」とのお願いに対応する浅井理事



橋場実行委員長の話を真剣に聞く児童の皆さん

ぎ栽培発祥の地が丘珠地区であることや札幌黄の歴史について説明し「食べるまでが勉強です。料理するとすごく美味しいので皆さんお家に持ち帰って味わって食べてください。」と話しました。

「お家に帰ったらお母さんとカレーライスを作って食べたい。」と嬉しそうに話す児童に参加者もほっこり。収穫した札幌黄はみんなで持ち帰ったほか、学校給食でも使用する予定です。

新琴似統括支店協同活動

園児たちの笑顔咲く

じゃがいも収穫体験

8月29日（火）、新琴似統括支店にて新琴似地区組合員9名と職員5名が参加し、屯田大藤保育園の園児50名が同地区組合員である坂田文正さんの圃場でじゃがいもの収穫体験を行いました。

圃場で因幡克己監事が耕運機を使い、畑を掘り起こすと、園児たちは土から出てきた大きなじゃがいもを見て大喜び。一つ一つ手に取りながら保育園の先生や参加した組合員に楽しそうに話しかけていました。

坂田さんは「じゃがいもを畑から起こした時の園児たちが喜んでいる姿を見る事ができ、この協同活動に取り組んでよかった。」と話し、因幡監事は「園児が収穫したじゃがいもを一緒に手に取ることで、みんなが楽しんでいる様子が感じられて嬉しかった。」と話していました。

収穫したじゃがいもは保育園の給食で使われたほか、園児たちがお土産に持ち帰っていました。



じゃがいもに変色などが無い確認する因幡監事



女性部白石支部

ゴルフ、温泉、ビンゴ： 真夏の良い思い出に！

8月2日（水）、女性部白石支部（田中美恵子支部長）では、部員16名、事務局2名が参加し、日帰り温泉付きパークゴルフ大会として、ユニニの湯へ行きました。

現地到着後、パークゴルフをプレーすると、ユニガーデンを見学する方へ分かれて活動しました。昼食後には、ビンゴゲームを開催し、大いに盛り上がりました。

田中支部長は「30度超えの真夏日でしたが、心地よい風が吹き過越しやすく、体調を崩す方も出なくて安心しました。温泉に入ったり、部員同士会話を楽しんだり、と、大満足の大会となりました。」と話していました。（橋田特派員）



女性部白石支部の皆さん

女性部琴似支部

日ハム選手の練習を間近で！ 話題のエスコンを満喫

8月31日（木）、女性部琴似支部（遠藤多壽子支部長）では、部員11名、事務局含む職員3名が参加し日帰り研修を実施しました。「久々の研修だけど元気だった？」という遠藤支部長の明るい挨拶に始まった研修。今年は注目のエスコンフィールドHOKKAIDO（通称エスコン）のスタジアムツアーに参加しました。エスコンは足に不安のある方も参加できるよう椅子の用意ができ、スムーズに見学！さらに翌日以降登板予定の日ハム先発投手陣数人が練習していて、目の前で見る姿に興奮もMAX！天然芝養生のため屋根が開いた解放感バッチリの球場で、ファイターズガールとの記念撮影もあり、想像以上の満足感を得られながら、ツアー終了後は買い物も満喫しました。その後、ランチ会場であるホクレン「くるるの杜」へ。お腹一杯、料理と談笑を楽しみ、大満足の一日となりました。「新聞やテレビで見るだけだった球場が『行った事のあるエスコン』になったと好評でしたよ」と遠藤支部長は話されていました。（奥村特派員）



記念撮影を行なう女性部琴似支部の皆さん

女性部新琴似支部

昆布の多彩な魅力を学び 海の恵みに感謝した懇親会

8月30日（水）、女性部新琴似支部（菅原利恵支部長）では、部員8名と職員2名が参加し、新琴似支店大会議室にて第1回懇親会を開催しました。

今回は北海道漁業協同組合連合会をお招きし「こんぶセミナー」を実施。北海道内で収穫される昆布の種類によっても使用用途が異なることや、収穫後は手間をかけて店頭で並ぶことなどを学び、実際に昆布出汁の試飲会を行なうことで出汁の違いを舌で感じることも出来ました。セミナーの最後は昆布出汁で作ったスープを試食し部員の皆さんは大満足の様子でした。終了後はお弁当でお食事会を行ないながら10月に開催予定の日帰り研修会の行先を決めました。菅原支部長は「昆布の産地や種類により味も形も大きな違いがあり大変驚きました。北海道の海の恵みに感謝して、毎日昆布と札幌野菜を食べて健康に過ごしたいものです。」と話していました。（山崎特派員）



昆布セミナーを受講する女性部新琴似支部の皆さん



完売になった「かぼちゃパイ」など、収穫祭限定のコラボメニューで会場を盛り上げました



じゃがいも・たまねぎ詰め放題コーナーは入場制限をするなど大盛況



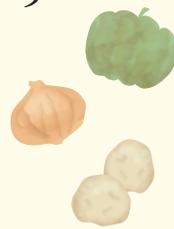
活気溢れるスイカ販売コーナー

晴天に恵まれた9月2日(土)、「ていね収穫祭」が開催され、新鮮な札幌産農産物が購入できるとあって、開場前から行列ができるなど、多くの来場者で賑わいました。手稲山口地区の特産品である「サッポロスイカ」の販売コーナーは、販売も終盤となった地元のスイカを買い求める来場者で活気に溢れていました。

また、会場では、みやこ南瓜を使用したかぼちゃパイなどのスイーツ、地元野菜とコラボしたスープカレーなど、ていね収穫祭限定の特別メニューも販売され、地域密着のJ Aらしい収穫祭となりました。

ていね収穫祭実行委員長である当J Aの池田利碩理事は、「久しぶりの開催で地域の方が来てくれるか心配していましたが、開場から30分ほどで売れ切れてしまう農産物がたくさん、想像以上の賑わいとなり安堵しています。」と話していました。

ていね収穫祭開催 地元の特産品を求めて賑わう



トラクターの展示コーナーは子供たちに大人気

韓国の学生22名が 農業研修で札幌を訪問

8月18日(金)、豊平地区組合員の高橋信一郎さんの圃場に韓国の大学生22名を招き農業研修を行ないました。

この研修は新規就農から8年目となる高橋さんの札幌農業の魅力をより多くの人に広めたいとの思いから実現。大学に通いながら農業を営む韓国の学生たちが研修に参加し、トマトの栽培方法や農業経営について説明を受けたほか、採れたてのミニトマトの実食も行ないました。通訳を介した質疑応答のため、言葉の壁を感じる場面もあった中、全ての質問に真摯に答えた高橋さんは「日本と韓国の農業における関係を深めるきっかけになれば嬉しく思います。」と話していました。

研修を終えた韓国の学生たちからは、「トマトの育て方や農業経営について知ることができました。日本は6次産業化が進んでおり、韓国でもトマトをジュースにするなどの取り組みに学んだことを活かしていきたい。」と話していました。



質問に通訳を通じて答える高橋信一郎さん

4年ぶりの開催 施設見学研修会

8月25日(金)、資産管理部会本部(高橋宣男部長)では、部会員25名と事務局職員16名が参加し、4年ぶりとなる現地視察研修会を開催しました。

見学先となったエスコンフィールドHOKKAIDOは開閉式屋根付き天然芝球場となっており、当日は芝の育成のため屋根が開放されていました。気温が35度近い猛暑でしたが、球場内のベンチ内にある新庄監督専用席に座ったり、VIP観覧席や記者会見スペースなど、普段は入ることが出来ない施設内を、ファイターズガールの先導で見学することができました。研修後はサッポロビール園で、久しぶりの懇親会を開催し、部会員同士の親睦を深めることができました。(川合特派員)



部会員・職員総勢41名での集合写真

女性部が講師となり 札幌大長ナンバンを「三升漬」に

9月1日(金)、JAさっぽろ女性部(菅原利恵部長)では、市立札幌みなみの杜高等支援学校と連携し、今年度1回目となる漬物講座を同校のカフェ厨房にて実施しました。

この取り組みは、同校で栽培する野菜の長期保存を課題にしていたことをきっかけに、女性部員が講師を務めながら伝統食でもある漬物の作り方を教え、昨年度は、女性部員が伝授した、生大根のアロニア漬け、ヤーコンのなまくら漬けなどが、同校が運営する「杜cafe」で提供されました。

今回の講座では、札幌伝統野菜である「札幌大長ナンバン」をテーマ食材として、女性部員が材料の切り方や調味料の配合などを生徒に伝えながら、調理実習を実施し「三升漬」と「南蛮味噌」の2種類を完成させました。



生徒さんからお礼の言葉をいただく女性部のみなさん



生徒さんにナンバンの切り方を教える嶋副部長

菅原部長は「三升漬や南蛮味噌ですること1年以上保存することができSDGsにも掲げているフードロス削減にもつながります。女性部として、今後も地産地消・伝統食の継承にむけた活動を行なっていきたいです。」と話していました。

今回お伝えした三升漬は、同校の生徒さんと南区の飲食店がコラボレーションして、「三升漬を使用した冷製パスタ」を作り、来年以降「杜cafe」にて提供する予定です。



質の高い教育をみんなに



パートナーシップで目標を達成しよう

厚別地区の小林紀彦さんが HTBアナウンサーに 牧草ロールの運搬や餌やりをレクチャー！

HTB（北海道テレビ）朝の情報番組「イチモニ！」の8月24日放送に、厚別地区組合員の小林紀彦さんが出演しました。この春に始動した「イチモニ農園」酪農編では、（有）小林牧場の協力のもと田口彩夏アナウンサーが搾乳体験など様々な酪農作業に挑戦。3回目となるこの日は、真夏の牧場が舞台。この日の気温は32度と猛暑の中、小林さんの指導のもと田口アナウンサーも重機に乗って牧草ロールを運びながら餌やりを体験。小林さんのアドバイスもあり、牧草ロールを安定して運び餌やりを終えることができました。

作業後には、小林牧場直営店の「おかしなソフトクリーム工房」で牛乳ソフトクリームを堪能。田口アナウンサーは「すごい濃厚だけど後味がさっぱり。この味わいは小林牧場の牛乳ならではですね。」と大絶賛していました。

小林家の牛乳^秘レシピも紹介

そしてこの日の放送では、小林家定番の牛乳アレンジレシピ「牛乳豆腐」も紹介。小林さんは、「牛乳をそのまま飲んでいただくのはもちろん、牛乳豆腐など牛乳を多くの調理にも使用していただけたら嬉しいですね。」と話していました。

小林牧場のみなさんの協力のもと続いてきた、「イチモニ農園」は、次回いよいよ最終回を迎えます。



重機に乗って牧草ロールをレクチャー



小林牧場直営おかしなソフトクリーム工房でソフトクリームを食べる小林さん（右）と田口アナウンサー（左）

牛乳豆腐の作り方

材料は
牛乳、水、酢の
3つだけ！！

手順1

50mlの水と1ℓの牛乳を鍋に入れてラップをして中火にかける。

手順2

少し沸いてきたら火を止め、お酢30ml入れて軽く混ぜる。

手順3

5分ほど固まるのを待つ。

手順4

布を敷いたザルの上に固まりを移して水分を抜いたら完成。



鍋に牛乳と水を注ぐ



ラップをして火にかけるのがポイント



ザルに移すときは、そおっと！



水分が抜けるまで待つ



小林よしこさん直伝牛乳豆腐

サラダやおつまみにもぴったり

札幌プリンスホテル×JAさっぽろ

青年部・女性部が連携して 農業と観光を盛り上げる

8月27日(日)、札幌プリンスホテルで1日限定のコラボレーション企画として「札幌夏野菜マルシェ」を開催しました。

この企画では初の試みとなる、青年部員と女性部員が連携して同ホテル前で野菜を販売。

当日は大雨や北海道マラソンの影響で人通りは少なかったものの、札幌近郊の新鮮な小松菜、ミニトマト、とうもろこし、レタスなど、用意した商品は概ね完売しました。

また、同ホテル1階のbuffetレストラン「ハプナ」では、大浜みやこ、サツポロスイカなど札幌近郊の7種類の農畜産物を使用した調理長おすすめ料理が特別メニューとして提供され、観光客や地域の方で賑わいました。

大畑青年部部长は「青年部員をはじめとした札幌圏の生産者の農畜産物が多くの方に食べてもらえることがなにより嬉しく、協力してくださった部員や女性部に感謝しています」と話し、菅原女性部部长からは「女性部活動での農業PRは



もちろんのこと、今後も青年部の事業にも協力させていただきながら、さらに多くの方に札幌圏の農畜産物を広めていきたい」と抱負が語られました。



野菜販売を行なうJAさっぽろ青年部員・女性部員の皆さん

酪農畜産部会琴似・手稲支部

デントコーン収量調査を 実施しました

9月8日(金)、酪農畜産部会琴似・手稲支部(萩中昭夫支部長)では、部会員6名が参加し、令和5年度デントコーンの収量調査を実施しました。

午前9時30分頃に近藤牧場を出発拠点として3班に分かれて出発。調査結果についてはサンプル分析の結果に時間がかかる為、後日のデント

トコーン調査時の報告となりますが、農業改良普及センターより「今年は調査時期が1週間ほど早いですが、身の入りは悪くなく順調に進んでおります。記録的な暑さの影響を受け小さめなものもありますが概ね順調でした。これから収穫作業に入りますが、事故のないように注意して農作業安全に努めてください。」と講評を頂きました。最後に集合写真を撮影して終了となりました。

(神田特派員)



酪農畜産部会琴似・手稲支部の皆さん

令和5年産米の収穫本格化 収穫量は平年より多い予想

石狩地区では9月3日（日）から稲刈りを開始し、9月9日（土）から米麦乾燥調製施設（石狩地区）で令和5年産米の受入がスタートしました。受入は昨年より6日早く、既存施設と7月に増設した米麦乾燥調製貯蔵施設を併用し受入を行っています。

9月13日（水）から収穫作業が本格化し、当施設へ生産者がコンテナ（ハードコンテナやフレコン等）を積んだトラックで往来し、JA職員は受入作業・調製作業・保管作業の日々に追われています。水稻生育は6月中旬以降の高温の影響により高温障害の発生が懸念されているものの、収穫量は平年より多いと予想されています。

令和5年度産米取扱品種は「ななつぼし」「ゆめぴりか」「きらら397」「あやひめ」「えみまる」「大地の星」「ゆきさやか」、作付面積は59,645a（うち、飼料用米9,512a）、販売取扱量1,998t（飼料用米除く）を計画しています。

なお、地物市場とれのさと（石狩市樽川）では10月7日（土）から令和5年産ななつぼしの販売を予定していますので、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

（二島特派員）



収穫作業の様子

世界最強のソフトボールリーグが やってきた☆

9月9日（土）～10日（日）、札幌円山球場で女子ソフトボールJDリーグが開催されました。世界最強のソフトボールリーグが札幌にやってくるということで、道内各地から集った大変多くの人で賑わいました。

石狩市は、平成元年に行われた「はまなす国体」の開催を契機として、ソフトボール競技を市民のスポーツとして指定しています。初日は、旧JAいしかりの中村武史代表理事組合長に白羽の矢が立ち、プロ選手が見守る中で始球式を務めました。始球式終了後には、未来のプロソフトボール選手達と記念撮影をしました。また、同リーグでファンサービス向上プロジェクトのスペシャルサポーターである元日本ハムファイターズの杉谷拳士さんと地元札幌出身で21年東京五輪ではソフトボール日本代表として金メダル獲得に貢献した元ビックカメラ高崎の山本優さんがトークショーで登壇し会場を大いに盛り上げていました。

2日目は、地元中学生の石狩SCと札幌

幌栄中がオープニング試合を行い、プロ選手の入場時にもエスコートキッズとして参加し、プロ選手とハイタッチをして選手を送り出しました。始球式とトークショーには元日本ハムファイターズの田中賢介さんが登壇し、会場に華を添えていました。

2日間を通して、とてもキビキビとしたプレーや普段なかなか見る機会のないスピードボールと華麗なボールさばきを身近で感じ、会場は終始歓声が上がっていました。

（袴田特派員）



始球式を行なう中村代表理事



生徒の皆さんに想いを話す小林さん

J Aグループ北海道×北ガスクッキングスクール 旬の野菜を使った料理で 地産地消をPR

J Aグループ北海道では、9月3日（日）に、北ガスクッキングスクールとの共同企画で「国産国消」をテーマとしたクッキングスクールを開催しました。

2回目となる今回は、「野菜農家さん直伝レシピで美味しいランチ」と題して厚別地区小林祐美さんに一部講師を担っていただきました。小林さんに紹介いただいたのは、直伝レシピの「レタスしゅうまい」「レタスとトマトのふわふわ卵」「えびしんじょみそ汁仕立て」の3品。

スクール中には、小林さんのレタスや春菊を生産する家族としての想いや、地産地消への想い等をお話いただ



「古川ポークのポークチャップ フレッシュレタスを添えて」をメインに、えびしんじょみそ汁仕立て、レタスとトマトのふわふわ卵、レタスしゅうまいなどが並ぶ彩り良いランチ

いたほか、自ら腕を振るい、おすすめの「春菊の天ぷら」を振る舞ってくださいました。

生徒さんは、終始小林さんのお話に興味津々にうなずきながら耳を傾け、スクール終了後は、多くの生徒さんが「レタスがシャキシャキでとっても美味しかったです。ありがとうございます」と直接お礼を伝えていました。

小林さんは、「とても緊張しましたが、このような機会を与えてくださったJ A・北ガスの皆さんに心より感謝しています。みなさんが美味しいと言ってくれた言葉が家族と共有し、これからの力にかえていきます。」と話していました。

えびしんじょ みそ汁仕立て

〈材料〉4人分

春菊…25g
 [A] はんぺん…100g
 片栗粉…大1杯
 桜えび…2.5g
 塩・こしょう…少々
 昆布水…C4杯
 だしパック…2個
 みそ…大2~3杯
 ポリ袋



〈作り方〉

- 春菊は葉と茎に分けます。葉はみじん切りにします。茎は小口切りにします。
- ポリ袋に[A]を入れよく揉みます。桜えびと春菊の葉を入れ、均等に混ぜ合わせ8等分にします。
- 湯を沸かし②を入れ、浮いてくるまで茹でます。
- 鍋に昆布水、だしパックを入れ火にかけ、沸騰直前に昆布を引き上げます。沸騰したら火を弱め、2~3分経ったらだしパックを引き上げます。
- ③と春菊の茎を入れ、みそを溶き入れ調味します。

レタスとトマトのふわふわ卵

〈材料〉4人分

トマト(中)…1個
 レタス…3枚
 [A] 卵…3個
 牛乳…大2杯
 さとう…小2杯
 塩…ひとつまみ
 バター…10g



〈作り方〉

- トマトは8等分のくし形切りにします。
- レタスは一口大のざく切りにします。
- ボウルに[A]を入れ混ぜ合わせます。
- フライパンにバターの半量を入れ火にかけ①に火を通します。残りのバターを加え、③を流し入れて大きく混ぜ、半熟になったら②を加え炒めます。

ポイント

レタスのシャキシャキ感が残るくらいまで炒め火を止めましょう。

レタスしゅうまい

〈材料〉8個分

豚ひき肉…100g
 新玉ねぎ(中)…1/2個
 片栗粉…大2杯
 [A] しょうゆ…大1/2杯
 さとう…小1/2杯
 ごま油…小1杯
 鶏ガラスープの素…小1杯
 塩・こしょう…少々



生姜(みじん切り)…大1杯
 レタス…4枚

【飾り】
 とうもろこしなど…適量
 アルミカップ…8個

〈作り方〉

- 玉ねぎはみじん切りにし、片栗粉をまぶします。
- ボウルに豚ひき肉と[A]を入れよく混ぜます。生姜と①を加えさらに混ぜ、8等分にします。
- ②をレタスで包み、【飾り】のをせます。アルミカップに入れて蒸します。強火12分くらい

C1杯=200ml / 大1杯=15ml / 小1杯=5ml



JA さっぽろ青年部 × 奥芝商店 コラボメニュー登場

小松菜・ミニトマト・札幌黄・春菊・男爵・古川ポーク・小林牧場バターなど青年部員が生産する農畜産物が使用されます。



札幌近郊で採れた彩り豊かな野菜や札幌古川ポークなど
生産者の思いが詰まった農産物と
奥芝商店 海老だしカレーのコラボレーション。



※メニュー画像はイメージです。予告なく変更になる場合がございます。
※1日の受付け数には限りがございます。
※スープ切れにより早めに閉店させていただく場合がございます。

提供期間

10月16日(月) 2023
10月31日(火)

提供場所

奥芝商店 駅前創成寺店

札幌市中央区北4条西1丁目ホクレンビル B1F
パールタウン飲食店街

11:00-15:00(L.O.)

17:00-21:00(L.O.)

TEL 011-207-0266

URL <https://okushiba.net/>



 SAPPORO PRIDE
JA Sapporo Youth

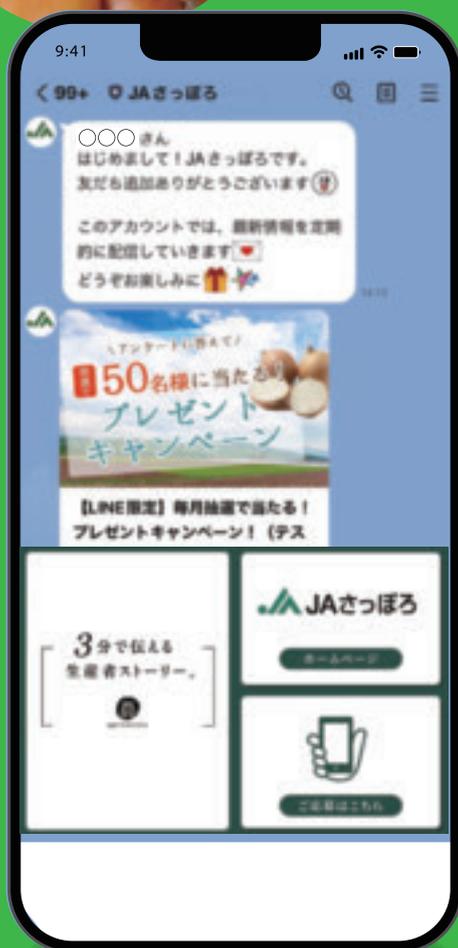


JAさっぽろ LINE公式アカウント はじめました!



友だち追加プレゼントキャンペーン実施中!

2023年10月31日までに友だち追加して
いただいた方の中から抽選で
50名様に「札幌黄(たまねぎ)10kg」プレゼント!



Contents1



3分で伝える!!
生産者ストーリー
毎月配信!

Contents2

毎月抽選で2名様にJAさっぽろ管内で
生産された1,000円相当の農畜産物・加工品
などが当たるキャンペーンを実施!

Contents3

収穫祭やイベント・キャンペーンなど
お得な情報を配信!

JAさっぽろ友だち募集中!

右のQRコードを読み取ってLINE登録を!

1. LINEアプリを起動
2. コードリーダーを立ち上げ、右記QRコードを読み取る
3. 「JAさっぽろ」のLINEアカウントを登録
4. 登録完了!



JAさっぽろ野球部 全道制覇！



全道JA野球大会 優勝



北海道知事杯札幌支部大会 優勝

本年6月に行なわれた石狩管内JA野球大会で準優勝し、11年振りに全道大会に出場した当JA野球部(斉藤竜太監督)は9月5日、6日に行なわれた第61回全道JA野球大会において、次々と優勝候補を撃破！決勝戦では上川地区代表のJAあさひかわと対戦し、7対6の1点差で逃げ切り、第46回大会以来15大会ぶり4回目の全道制覇を果たしました。

個人表彰は次のとおりです。(敬称略・当JA野球部のみ記載)

最優秀選手賞・外石和也
敢闘賞・荻澤拓夢、金 侑馬
打撃賞・山本泰広 勝利監督賞・斉藤竜太

当JA野球部が出場した今シーズンの公式戦について、全日程が終了しましたので、試合結果をご報告いたします。

2023年度 公式戦結果

第63回 石狩管内JA野球大会	6/3	1回戦 対 JA北いしかり	6-0
	6/4	準決勝 対 JAいしかり 決勝 対 JA道央	7-0 2-5
天皇賜杯 第78回 全日本軟式野球 札幌支部大会	6/11	1回戦 対 RED Wizards	不戦勝
	6/25	2回戦 対 北海道赤十字血液センター	4-12
第78回 国民体育大会軟式野球 札幌支部大会	7/8	1回戦 対 北海道三菱自動車販売(株)	7-6
	7/9	準決勝 対 小鍛冶組 決勝 対 北海道ガス(株)	5-2 6-8
北海道知事杯 第23回北海道軟式野球選抜選手権大会 札幌支部大会	8/5	1回戦 対 札幌市役所	12-2
	8/6	準決勝 対 北海道赤十字血液センター 決勝 対 北海道三菱自動車販売(株)	3-1 12-0
北海道知事杯 第23回北海道軟式野球選抜選手権大会 道央ブロック大会	8/11	1回戦 対 神出設計 ecoa ハウス	0-8
第61回 全道JA野球大会	9/5	1回戦 対 JAようてい 2回戦 対 JAきたみらい	2-1 4-1
	9/6	準決勝 対 JA道央 決勝 対 JAあさひかわ	6-5 7-6

組合員の皆様こんにちは！この度、私たちJAさっぽろ野球部は、18年ぶりにJA全道野球大会において優勝を果たす事が出来ました！！

18年前は私がJAさっぽろに入組した1年目であり、この間チームとしても私個人としても色々な事がございましたが、今回このような結果を残す事が出来ましたが、組合員皆様からの熱い応援、役員からの厚いサポート、そして選手・マネージャーの努力が一つになったからこそだと感じています。改めて、JAさっぽろ野球部に携わってくださいました皆様、本当にありがとうございます。長い間お待たせいたしました。

来シーズンはJA野球大会2連覇を目標に、より一層チーム一丸となり取り組んでまいりますので、引き続きご支援・ご声援を頂ければ幸いです。今後ともJAさっぽろ並びにJAさっぽろ野球部を宜しくお願いいたします！！



表1 札幌市の住宅地・商業地の平均変動率

	住宅地		商業地		全用途	
	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年
	変動率 (%)					
中央区	7.9	13.9	5.2	9.6	6.4	11.5
北区	9.7	15.7	5.6	7.8	8.6	13.4
東区	10.5	16.2	6.5	13.0	9.0	14.8
白石区	9.9	13.6	4.3	6.6	7.9	11.1
厚別区	8.1	12.9	7.3	11.5	7.9	12.5
豊平区	9.0	12.7	6.9	8.3	8.4	11.5
清田区	13.3	16.9	8.7	14.5	12.3	16.4
南区	4.8	10.9	4.7	7.1	4.8	10.0
西区	8.7	17.0	4.9	11.2	7.2	14.6
手稲区	12.7	22.1	7.7	11.1	11.1	18.9
札幌市	9.3	15.0	5.8	9.7	8.1	13.2

表2 全国の住宅地上昇率ランキング

順位	標準値番号	標準値の所在 (住居表示)	令和4年	令和5年	変動率 (%)
			価格 (円/m ²)	価格 (円/m ²)	
1	北広島1	北広島市共栄町 1-10-3	46,000	59,800	30.0
2	北広島4	北広島市美沢 3-4-8	47,000	60,800	29.4
3	北広島6	北広島市東共栄 2-20-5	29,800	38,500	29.2
4	北広島14	北広島市北進町 3-3-4	53,800	69,500	29.2
5	江別2	江別市朝日町 13-14	8,600	11,100	29.1

表3 全国の商業地上昇率ランキング

順位	標準値番号	標準値の所在 (住居表示)	令和4年	令和5年	変動率 (%)
			価格 (円/m ²)	価格 (円/m ²)	
1	北広島 5-2	北広島市栄町 1-1-3	67,000	86,000	28.4
2	北広島 5-1	北広島市中央 2-1-2	44,000	55,000	25.0
3	恵庭 5-4	恵庭市緑町 2-77	39,500	49,200	24.6
4	江別 5-5	江別市元江別 873-19 外	24,000	29,800	24.2
5	江別 5-6	江別市上江別西 42-6 外	30,000	37,200	24.0

2023年度 地価上昇率(ランキング)について

今年度の公示地価が公表されました。札幌市の住宅地で平均15・0%上昇、商業地で9・7%上昇となりました。また、住宅地については全区で10%を超え、手稲区では20%を超える上昇率となっております。

※表1 札幌市の住宅地・商業地の平均変動率をご確認いただけます。

全国の住宅地・商業地上昇率ランキング(表2・3)では全国トップ5を札幌圏(札幌市内を除く)が2年連続で独占し、プロ野球北海道日本ハムファイターズの本拠地新球場の「エスコンフィールドHOKKAIDO」が完成し、話題となった北広島市が住宅地・商業地とも上昇率

全国1位を記録しております。住宅地では札幌市内と比較した割安感から、商業・工業地では新千歳空港へのアクセスや都市部近郊で大規模な敷地が確保できる地域として見込まれ上昇した結果となった模様です。最先端半導体の国内生産を目指すラピダスが千歳市に工場建設を決めたことなど道内への企業の進出が後押しした面もあり、工業系の土地の価格も含め今後の動向を注目していきたいところです。

相談部では、今後も組合員の皆様のお役に立つ情報の発信を続けていきます。



今回の記事は、国土交通省、札幌市のホームページなどから抜粋し紹介しています。データの詳細等については、それぞれのホームページ等によりご確認くださいませよう願いたします。

北海道補助事業

『肥料価格高騰緊急対策事業』について

高騰する肥料購入費の負担を軽減するため、化学肥料低減の取組を行なう道内農業者に対し、北海道肥料コスト低減体系緊急転換事業推進協議会（本事業実施主体）を通じて、支援金が支払いされる事業が予定されております。

- 対象となる化学肥料：R5年6月から12月までの間に納品（発注）される化学肥料
- 肥料購入支援金：化学肥料1トン当たり3,125円（上限）
※1トン未満は対象外
- 支援金の申請時期：令和5年12月末日

上記は、8月の事業説明会の資料に基づき作成しております。詳細につきましては、本誌来月号にてご案内申し上げます。

経済部購買課（丘珠） TEL (011) 789-1600 経済部購買課（八幡） TEL (0133) 66-4488
 営農販売部営農課（丘珠） TEL (011) 782-8130 営農販売部営農課（八幡） TEL (0133) 66-3344

経済店舗の冬期間 営業体制について

丘珠資材センター・南経済店・手稲経済店・清田経済店・篠路経済店は、11月～2月の土曜日を休業とさせていただきます。また、石狩経済店は、10月～3月の土曜日と12月～2月の水曜日を休業とさせていただきます。

組合員の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。経済部・営農販売部の各課の詳細につきましては次号掲載予定です。

様々な経営リスクを収入保険でカバーしませんか？

全ての農産物を対象に、自然災害や価格低下だけでなく、
 農業者の経営努力では避けられない収入減少を広く補償します。

自然災害で減収



市場価格が下落



災害で作付不能



病気で収穫不能



倉庫の浸水被害



取引先の倒産



盗難や運搬中の事故



為替変動で大損



加入できる方

・保険期間の前年1年分の青色申告（簡易な方式を含む）実績があれば加入できます。

対象収入

・農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体
 ※ 簡易な加工品（精米、もちなど）は含まれます。※ 一部の補助金（畑作物の直接支払交付金等の数量払）は含まれます。
 ※ 肉用牛、肉用子牛、肉豚、鶏卵は、マルキン等の対象なので除きます。

受付期間

・個人の方の最終受付は12月下旬となります
 ・法人の方は決算月により最終受付日が異なります

詳しくは…お問い合わせ先 北海道農業共済組合 みなみ統括センター 石狩支所
 〒067-0055 江別市篠津401番地4 TEL:011-382-5470、FAX:011-382-5493

アンパンマンたちと交通ルールを楽しく学ぼう!

「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」開催

9月9日(土)と10日(日)の両日、サッポロさとらんどにて「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」を開催しました。

このイベントは交通事故を防ぐため、アンパンマンやその仲間たちの歌や踊りを通じて、子どもたちとその保護者に交通ルールとマナーについて知ってもらうことを目的とした地域貢献活動の一つです。

今年はJAさつぽろとJAいしかりの共催で、初めて2日間にわたり合計4公演を開催し、延べ3,000人を超える多くの子どもと保護者のみなさまがアンパンマンたちと一緒に交通安全について楽しく学ぶ大盛況のイベントとなりました。

入口横に設けられたアンケートコーナーでは、お子さまの元気な成長にJA共済が役立つことをお伝えするためのアンケートを実施して、多くの方々に記入いただきました。イベントが始まりステージにアンパンマンたちが登場し子どもたちから大きな歓声が上がリ、楽しそうに踊りながら交通ルールについて学んでいました。イベント終了後にはアンパンマンたちとの握手会が

行なわれるなど、最後までみんなが笑顔で過ごした2日間となりました。

また、さとらんど内では同じく地域貢献活動の一つであるドライブシミュレーター『きずな号』と『すまいる号』の運転体験による交通安全啓蒙活動を行なったほか、両JAによる玉ねぎ・じゃがいも・人参の詰め放題販売も実施し、多くのイベント参加者やさとらんど訪問者で賑わいを見せていました。



© やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

令和5年度

第2回地区別懇談会のご案内

左記の日程で令和5年度の第2回地区別懇談会を開催いたします。組合員の皆さまは、開催前にお届けする資料をご持参の上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

※詳細は支店よりご案内させていただきます。

開催日	地区名	開会時間	会場
11月20日(月)	中央	9:30~	本店3階大会議室
	新琴似		新琴似支店会議室
	手稲	14:00~	手稲支店会議室
	北札幌		北札幌支店会議室
11月21日(火)	豊平	9:30~	清田区民センター
	厚別		厚別支店会議室
	平岸	14:00~	平岸支店会議室
	白石		白石支店会議室
11月22日(水)	西町	9:30~	西町支店会議室
	琴似		琴似支店会議室
	篠路	14:00~	篠路支店会議室
	南		南支店会議室
11月24日(金)	石狩八幡	9:30~	八幡コミュニティーセンター
	石狩花畔		花畔中央会館

理事会だより

第5回定例理事会

令和5年8月30日(水) 午後1時00分より本店役員会議室において第5回定例理事会が開催された。

● 監事会報告事項

1、令和5年度上期随時監査報告

● 合併委員会報告事項

1、JAいしかりの小麦異品種混入に係る対応について

● 協議事項

1、合併認可申請の石狩振興局への提出について

行政庁への認可申請書が合併決議の効力を生ずるための法的な要件である旨、及びその申請書と一緒に提出する書類、申請日について説明され、協議後、可決決定。

2、令和5年度内部監査実施計画(下期)の変更について

10月のJAいしかりとの合併を受け、合併後の監査計画をJAいしかりの事務所等を勘案した監査計画に変更したい旨、及びその日程について説明され、可決決定。

3、JAいしかりとの合併に伴う関係諸規程類の一部改正について

令和5年10月1日のJAいしかりとの合併に伴う所要の改正である旨が説明され、可決決定。

4、『給与規程』の一部改正について

様々な要因により採用試験の応募者数が減少していることを受け、次年度に向け初任給の見直しを実施したい旨、また現在昇格基準としている新採用職員の役割等級滞留年数が、運用実態と乖離していることから所要の整備を実施したい旨が説明され、可決決定。

● 報告事項

1、地区別懇談会の開催日程について

2、令和5年度CCS定期確認における凍結口座名義人対応結果報告

3、JA経営状況に関する事項の報告について

4、7月末財務状況報告

5、7月末組合員加入・脱退状況報告及び未済持分譲渡報告

6、8月の動静と9月の予定について
(閉会・午後3時34分)

令和5年8月末業務実績

令和5年7月末業務実績

JAさっぽろ DATA	組合員数	正組合員	3,435名	3,476名
		准組合員	31,605名	32,082名
	合計	35,040名	35,558名	
	出資金残高	66億7千万円	66億4千1百万円	
	販売取扱高	6億7千6百万円	4億7千1百万円	
	購買供給高	4億2千4百万円	3億7千5百万円	
	貯金残高	3,472億7千9百万円	3,468億1千1百万円	
	融資残高	924億2千8百万円	922億3千3百万円	
	共済保有高	5,913億2千6百万円	5,915億8千2百万円	
	施設建設取扱高	9千8百万円	9千8百万円	
	管理受託戸数	4,609戸	4,590戸	